学校創立１４１周年

百年松

阿木名小中学校便り　令和３年７月１６日発行

◇ 校訓「かしこく　やさしく　たくましく」

あ 明るく元気なあいさつができる子ども
ぎ ぎりぎりまであきらめず努力する子ども
な 仲よく笑顔いっぱいの子ども

～花いっぱい，元気いっぱい，笑顔あふれる阿木名っ子～

阿木名小中学校

いよいよ夏休みです！

校長　井上　泉

１学期が，まもなく終了します。依然として，新型コロナ感染症終息のめどが立たず，夏休みに入ります。子どもたちは，さまざまな学習や学校行事，部活動等に感染症対策を駆使しながらの1学期でした。

小学校では，修学旅行に行くことができました。健康面に気を付けながら，集団で学べた意義は大きかったと思います。中学校では地区の総合体育大会の，バレー・陸上に出場しました。合同チームで練習もままならなかったであろうバレーや，早朝の練習を繰り返し「チーム阿木名中」として三儀山陸上競技場で自分の記録をかけて走り切ったことなど，どれもが昨年経験できなかったことです。また集団宿泊学習も職場体験学習も，地域の皆さんのご理解とご協力をいただき実施することができました。当たり前にできることが，こんなにうれしく有り難いことだと痛感しました。

また，６月29日の大島地区道徳研究会では，小学校2・3・5年生の研究授業が行われました。たくさんの先生方が来校され，やや緊張しながら発表したり先生とともに考える姿がとても頼もしく感じました。

小学生の朝の元気な歌声や，手をつないで登校する姿。昼休みに小中一緒に校庭で遊んでいる姿に，阿木名小中でしか体験できない，人と人とのつながりを感じます。その様子に微笑ましい思いでいっぱいです。

こうして1学期振り返ると，その時々で，できることを精一杯取り組んでいたことがわかります。課題もありますので，反省をしつつ，充実した２学期につなげられるようにしたいと考えます。まずは１学期が無事終わります。よい夏休みを過ごしましょう。

さて，今年は東京オリンピックが開催されます。金メダルが期待されている女子ソフトボールのエースピッチャー上野投手の話です。

彼女は2004年のアテネオリンピックで２試合投げて２敗しています。しまいには打たれ続ける上野投手を，監督は使いませんでした。その時銅メダル。その悔しさをばねに，2008年の北京オリンピックに挑戦し優勝しました。その時の上野投手のとても印象深いことばがありました。

優勝した上野投手に，インタビュアーの方が「ベストピッチングはどの場面ですか？」と聞いたところ，「アメリカ戦で４番バッターを敬遠したピッチングです」と答えたのです。400球を超す熱投を繰り返すピッチャーですから，そうとうの負けず嫌いのはずです。そのピッチャーが「敬遠した場面が，ベストピッチングだ」というのです。そして「私だけが試合をしているのではない，後ろで守ってくれる仲間や，私のボールを受けてくれるキャッチャー，ベンチで応援してくれる仲間がいるからできること。だから迷わず，自信を持って敬遠できた。この気持ちがアテネから１番成長したところです。」と笑顔で話しました。仲間を大切に信じるこのことこそが，大切な武器であることを，改めて感じさせてくれました。

今年の東京オリンピックでも，きっと素晴らしいプレーや感動するシーンが見られると思います。ぜひ応援してください。